



2022年5月12日

各位

会社名 リソルホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 今泉 芳親
(コード番号 5261 東証プライム)
問合せ先 経理部長 及川 毅雄
(TEL. 03-3344-8861)

2022年3月期通期連結業績と前期実績との差異および 通期個別業績と前期実績との差異に関するお知らせ

2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の通期連結業績及び通期個別業績について、前期実績との差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期通期連結業績と前期実績との差異 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回連結実績(A)	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
2021年3月期	19,534	1,052	1,673	310	55.92
当期連結実績(B)					
2022年3月期	20,902	685	785	474	85.35
増減額(B-A)	1,368	△366	△888	163	29.43
増減率(%)	7.0	△34.8	△53.1	52.7	—

2. 2022年3月期通期個別業績と前期実績との差異 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回実績(A)	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	9,361	2,518	1,785
当期実績(B)			
2022年3月期	4,031	795	1,294
増減額(B-A)	△5,329	△1,723	△490
増減率(%)	△56.9	△69.7	△27.5

3. 差異が生じた理由

(2022年3月期通期連結業績と前期実績との差異)

当社の2022年3月期の通期連結業績につきましては、ホテル運営事業は新型コロナウイルス感染症拡大による影響により減益となったものの、ゴルフ運営事業では密を避けた安全なスポーツという認識が追い風となり好調に推移しました。また投資再生事業においては、当初の計画通りに福島石川太陽光発電所第二設備の売却を実施致しました。

営業利益以下の段階利益の前期実績との差異の主な要因は、経常利益においては営業外収益の雇用調整助成金収入の減少(2022年3月期は148百万円、前期は621百万円)、他前期に投資再生子会社株式売却益219百万円が発生したことによるものです。当期純利益については前期新型コロナウイルス感染症拡大による影響により休業した際の費用等の特別損失への計上(2022年3月期は221百万円、前期は531百万円)の他、当期については特別利益(負のれん発生益)473百万円を計上によるものであります。

2022年3月期の業績の詳細につきましては、本日公表の「2022年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」もあわせてご参照ください。

(2022年3月期通期個別業績と前期実績との差異)

当社の2022年3月期の通期個別業績につきましては、前期保有しておりました太陽光発電所の売却が発生したため、売上高に関して前期実績との差異が生じました。

以 上